

＜お願い＞ ご使用する方に必ずこの取扱説明書をお渡し下さい。

取扱説明書 赤外線ワイヤレスリモコンユニット



このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。
万一、ご使用中にわからない事や不具合が生じたときとお役に立ちます。

安全上のご注意

□絵表示について この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしったり周囲の家財に損害を与えたりする事があります。

□絵表示の例



この記号はしてはいけない内容です。



この記号は実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

**引抜強度を確保
できる場所に
取り付けて下さい。**

取付場所の強度が不十分な時、
落下などで事故の原因に
なります。

* 十分な強度
(最低引抜強度5倍以上)に
補強してから取り付けて
下さい。



禁止

**異物を
入れないで下さい。**

液体や金属などが内部に入ると、
故障の原因になります。



禁止

**振動する場所に
取り付けないで
下さい。**

部品などが破損し、故障や
落下などで事故の原因に
なります。



禁止

**塩素や腐食性ガスが
発生する場所に
設置しないで下さい。**

部品などが劣化し、故障や
落下などで事故の原因に
なります。



禁止

**油の付着しやすい
場所に設置しないで
下さい。**

部品などが劣化し、故障や
落下などで事故の原因に
なります。



禁止

**火気近くでは使用
しないで下さい。**

ストーブなど火気近くでは
使用しないで下さい。
火災・火傷・故障の原因に
なります。



禁止

**可燃性ガスの中
で使用しないで
下さい。**

可燃性ガスに引火・爆発する
恐れがあります。



禁止

**高温・多湿の
場所では使用
しないで下さい。**

部品などが劣化し、故障や
落下などで事故の原因に
なります。

⚠ 警告



分解禁止

製品を改造したり、
部品交換をしないで
下さい。

火災・感電・故障などで
事故の原因になります。



手をふれない

危険ですので
お子様に手を触れ
させないで下さい。

事故に繋がる恐れが
あります。周囲の安全を
確認してご使用下さい。



禁止

ケーブル類は
引っ張らないで
下さい。

火災・感電・漏電・故障の
原因になります。



必ず守る

配線は正しく
行って下さい。

誤配線によりショート・
火災・漏電・故障の
原因になります。



必ず守る

異常を感じた場合は、
速やかに電源を
切して下さい。

異常事態が収まった事を
確認し、販売店または専門の
工事業者にご相談下さい。



禁止

受光器は水や雨の
かからないところに
取り付けて下さい。

火災・感電・漏電・故障の
原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

スクリーン等を
昇降させる時、
周囲に人や障害物が
ない事を確認して
から操作して下さい。



必ず守る

製品は経年劣化します。
設置して年月が経つと
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行
しています。
点検・交換をして
下さい。



必ず守る

点検・お手入れの際は
電源を必ず切って
行って下さい。



必ず守る

受光器は、
溶接取付をしないで
下さい。



必ず守る

スイッチは、濡れた
手で触れないで下さい。



必ず守る

廃棄は専門業者に
依頼して下さい。
燃やすと化学物質
などで目を痛めたり、
火災・火傷の原因に
なります。



手をふれない

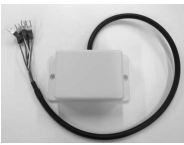
製品の取り付け・
取り外しは、
販売店または専門の
工事業者にご依頼
下さい。

◆ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

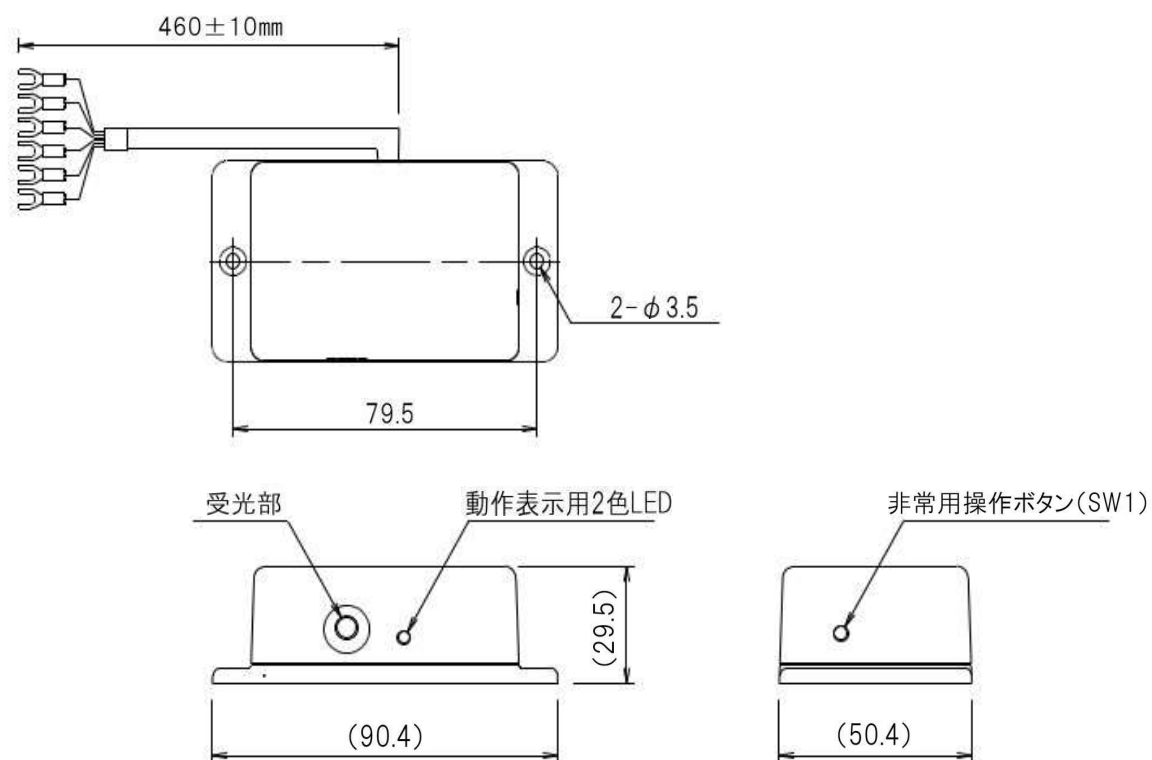
- ① 本取扱説明書記載の内容に反した工事、使用により発生した損害・被害
- ② 本製品の不良・不具合以外の事由（火災・自然災害・設置工事の不備・建屋側取付面の不良などを含む）による損害・被害
- ③ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できない事で被る不便・損害・被害

赤外線ワイヤレスリモコンユニット

赤外線送信機 	リチウム電池 CR-2032  ※赤外線送信機に セットされています。	赤外線受光器 	タッピングネジ 
1個	1個	1個 L=460	2個 3×20

赤外線受光器 詳細

【基本構成】 外観形状及び寸法は、下図の通りとなります。



基本仕様

	項 目	仕 様	単 位
1	電源電圧	AC90~110	V
2	動作電流	5	mA
3	接点定格	DC24V 100mA以下	-
4	動作温度	-10~+60	℃
5	動作湿度	85%RH(結露なきこと)	-
6	質 量	95(接続ケーブル含む)	g
7	受信距離	7	m以下

【受信距離について】

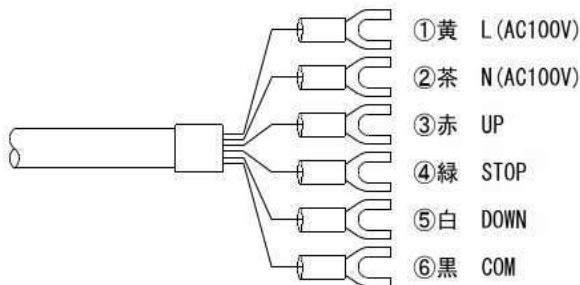
赤外線送信機から照射される赤外線の入射角によっては、信号を受信出来る距離が異なります。
正面の場合は7m以下となります。

※ 但し、送信機の状態・周囲環境によっては受信距離は増減します。

結線の方法

【接続図】 入出力ケーブルの線色と接続端子の関係は下図の通りとなります。

- 必ず電源を切って作業して下さい。

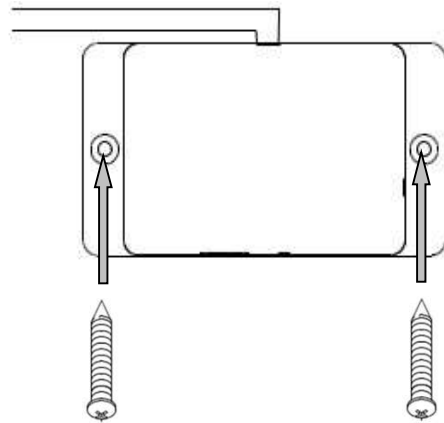


注意

結線は、正しく行って下さい。
間違った結線を行うと、
正常に動作しなかったり
故障の原因になります。

赤外線受光器の取付手順

【取付方法】 付属品のタッピングネジ（3×20）もしくはお客様のご用意されたネジで、受光器を任意の場所に取り付けて下さい。



注意

赤外線受光器を取り付ける場合は、受光部に直射日光やインバーター蛍光灯等の強い光が当たる場所には設置しないで下さい。
正しく受光出来ず、反応が鈍くなる、もしくは反応しない等の問題が発生します。
このような問題が発生した場合は、設置場所を変更して下さい。

アドレスの設定方法

- 本製品は、赤外線通信を使用します。

受光器と送信機は、それぞれ自身のアドレス（1～3のいずれか）を持ちます。
受光器は、自身のアドレスと一致した送信機からのみ送信された
コマンド（UP・STOP・DOWN）を受信します。
出荷時、受光器に同梱されている送信機は、
受光器と同じアドレスに登録済みです。
（受光器と送信機はそれぞれアドレス1に設定されています。）

変更する場合は、次の手順で行ってください

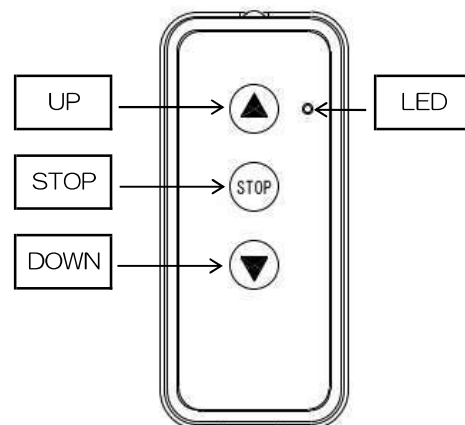
1 送信機のアドレス設定

設定モードを使用し、送信機のアドレスを設定します。

設定モード

送信機にセットされているリチウム電池を取り出します。
各ボタンを押しながら電池を入れます。

- UPボタンを押しながら電池を入れ、3秒以上押したままにする。
⇒ アドレスが「1」に設定され、LEDが1回光ります。
- STOPボタンを押しながら電池を入れ、3秒以上押したままにする。
⇒ アドレスが「2」に設定され、LEDが2回光ります。
- DOWNボタンを押しながら電池を入れ、3秒以上押したままにする。
⇒ アドレスが「3」に設定され、LEDが3回光ります。

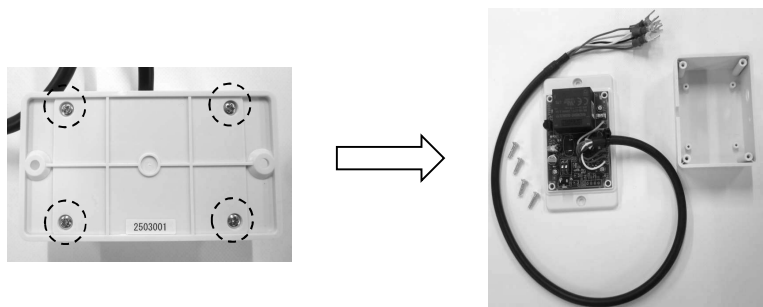


2 受光器のアドレス設定

受光器の中のディップスイッチ（SW2）を使用し、受光器のアドレスを設定します。

設定方法

- ① 赤外線受光器の裏面のネジを外し、カバーを取ります。
※ネジの紛失には気を付けて下さい。

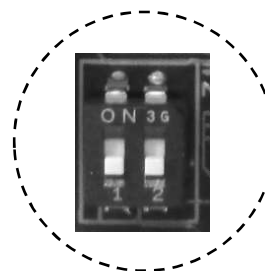


【全体】



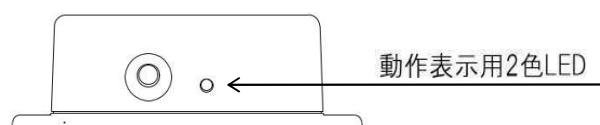
- ② スイッチの位置を変更し、アドレスを設定して下さい。

ディップスイッチ		スイッチの位置	アドレス
SW2-1	SW2-2		
OFF	OFF		1 (出荷時)
ON	OFF		1
OFF	ON		2
ON	ON		3



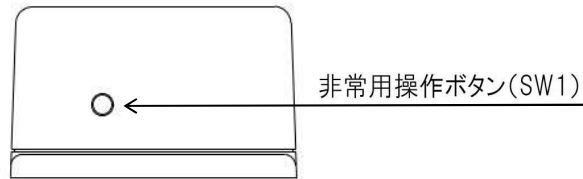
ディップスイッチ
(SW2) の拡大

※ 電源ON時に、自身のアドレスの回数分、LED（橙）が点滅します。



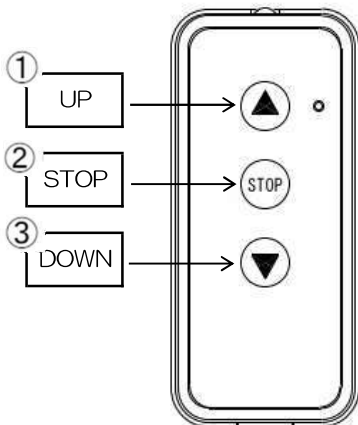
非常操作スイッチ

先端の細いものを使用して受光器の非常操作スイッチ（SW1）を押すことでも「UP」「STOP」「DOWN」の操作ができます。
押すごとに「DOWN」→「STOP」→「UP」→「STOP」を繰り返します。



ご使用方法

- 電源が入っている時、受光器のLEDは赤色に点灯します。
送信機の「UP」「STOP」「DOWN」ボタンで操作して下さい。

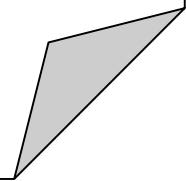


① UPボタン	LED点灯色	コマンド受信時
		緑色
スクリーン・バトン棒等を上昇させる時		
※ 但し、スクリーン・バトン棒等の降下中は無効。 降下中に上昇させたい場合は、STOPボタンで一旦停止させてからUPボタンを押して上昇させて下さい。		
② STOPボタン	LED点灯色	コマンド受信時
		緑色
スクリーン・バトン棒等を直ちに停止させる時。 また、作動中のスクリーン・バトン棒等を任意の位置で停止させる時。		
③ DOWNボタン	LED点灯色	コマンド受信時
		緑色
スクリーン・バトン棒を降下させる時。		
※ 但し、スクリーン・バトン棒等の上昇中は無効。 上昇中に下降させたい場合は、STOPボタンで一旦停止させてからDOWNボタンを押して下降させて下さい。		

● リモコン操作の注意事項

- * 赤外線受光器の受光部正面から操作して下さい。
（受信距離については、P. 3【受信距離について】を参照して下さい。）
- * リモコンを操作しても時々反応しなくなった時などは、電池の寿命が考えられます。
早めに新しい電池と交換して下さい。

*** MEMO ***



*** MEMO ***

